

## 市町自衛官募集事務担当職員が航空機を見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）袋井地域事務所は、7月24日（火）、航空自衛隊浜松基地（浜松市）で行われた「市町自衛官募集事務担当課長会議」を支援した。

これは毎年県が主催し、各市町の自衛官募集事務担当課長等に対し募集事務における要望事項を説明するとともに、部隊研修を通じて自衛隊の現状を確認してもらい、募集基盤の充実を図る目的で実施されている。袋井所担当市町からは、今年度組織募集の推進基盤育成を行う重点市町として指定された袋井市をはじめ、磐田市、掛川市、菊川市及び森町からそれぞれ担当者が参加した。

会議では、県担当者及び静岡地本募集課長・伊東宏之二等陸佐が、県内の募集環境や募集事務における注意事項などの説明を行ったほか、住民基本台帳事務の適正な実施や市町ホームページから静岡地本ホームページへのリンクを可能とすることなど具体的な要望が議題となった。

また、参加者には同基地第1航空団飛行群所属のパイロットによるT-4中等練習機の性能説明や操縦席に座って計器の説明、F-15・F-2各戦闘機の見学が行われた。

参加者は「航空学生合格倍率やその後の経歴などを聞き、自衛隊のパイロットの優秀さを感じた」「ペトリオットPAC3は航空自衛隊が運用していることを初めて知った」などと話し、自衛隊に対する理解を一層深めた様子であった。

静岡地本は、今後も西部地区の市町と緊密に連携し、組織的募集基盤の拡充に努めていく。

## 焼津出身パイロットとともに大空へ



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は7月29日（日）、航空自衛隊静岡基地（焼津市）において行われたCH-47J輸送ヘリコプターの体験搭乗を支援した。

前日まで台風による影響が心配されたものの、早朝の曇り空から徐々に天気も回復し、青空と暑さが復活した中での実施となった。

航空自衛隊入間基地（埼玉県狭山市）から飛来したCH-47J輸送ヘリコプターの機長は、地元焼津市出身の赤木隆修一等空尉。同市の募集相談員でもあるご両親も基地を訪れ、家族団らんの後、我が子の操縦するヘリコプターでのフライトを楽しんだ。

体験搭乗には、高校生や教諭など85人が、3回のフライトに分かれて搭乗した。フライトを前にした参加者からは「緊張します」「すごく楽しみです」などさまざまな声が聞かれ、空自隊員による搭乗前教育が終了するといざフライトへ。CH-47Jは大空へ飛び立ち、約20分間、空の旅を満喫した。

体験搭乗を終了した参加者からは「海がきれいで景色も良かったです」「また乗りたいです」と喜びの声が寄せられた。

静岡地本は、体験搭乗や基地見学などさまざまなイベントを通じて、更に自衛隊の認知度を高め、これからの募集業務に繋げていく。